

## 南第一小学校地区の避難施設機能について

学校が担っている避難施設機能は、学校跡地をはじめ、統合新設校や周辺施設等も含めて、その地域にとって最適な配置を検討し、引き継いでいきます。

対象	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
南一小	既存校舎		新校舎建設			☆新校舎使用	
南中		仮校舎建設	仮校舎				

## 1 工事期間中（2025年から2027年）の南第一小学校の避難施設機能について

## (1) 近隣の避難施設に分散

防災課と自治会等で想定避難先を決め、既にその想定避難先への避難を決めている自治会等との間で調整の場を設けます。

近隣の避難施設（震災時）：南中学校仮校舎、小川小学校、南つくし野小学校、つくし野中

近隣の避難施設（水害時）：南中学校仮校舎、つくし野中

## (2) 避難場所の拡充の検討

避難施設になっている学校の空き教室の開放、現在避難施設に指定されていない施設（民間施設も含む）の活用、避難広場にテントを張れるようにするなどの拡充を検討します。

## 2 2028年以降の南第一小学校の避難施設機能について

新校舎も、避難施設として活用します。他地区と同様に南第一小学校を想定避難先としている自治会等と避難所の開設等について調整していきます。

## 3 地域防災計画について

東京都被害想定が10年ぶりに改定されたことを踏まえ、市内各地区における避難者数を改めて推計し、2023年度に町田市の地域防災計画を改定する予定です。なお、建物の耐震化等が進み、避難者の数は約40%減少が見込まれています。

## 【避難に対する考え方について】

災害発生時、状況によっては避難施設が安全でない場合もあります。避難する場合は、その時一番安全な場所に避難してください。

また、命の危険（自宅の倒壊や火災の被害等）がなく、生活に大きな支障がない場合は、自宅が一番安全な避難場所です。最低3日以上の食料と水・簡易トイレなどの生活必需品を日頃から備えておき、ライフラインが途絶えても自宅で暮らせる工夫をしてください。